

《目指す子ども像》

自ら進んで学ぶ子ども 思いやりのある優しい子ども 心身ともに健康でたくましい子ども

まくべつ学園だより

発行日 令和5年7月24日(月)
まくべつ学園 小中一貫コーディネーター
(幕別中 遠藤康代)

4月に161人の小学校児童と84人の中学校生徒で元気に学校生活がスタートして、早4カ月が過ぎました。小中それぞれの学校はもちろんのこと、まくべつ学園（幕別小・幕別中）としても、様々な行事や取組、日々の生活スタイルなど、今年度は、コロナ前に近い形に戻り活発に行うことができます。

今号の「まくべつ学園だより」では、1学期の学園の様子や今年度の新たな取組などについてお伝えいたします。

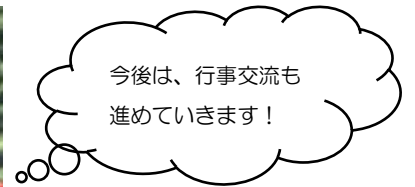
今学期の学園の様子



【4月 学園総会】



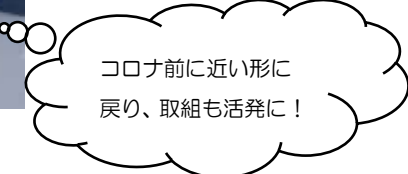
【5月 中学校体育祭】



今後は、行事交流も進めていきます！



【6月 小学校運動会】



コロナ前に近い形に戻り、取組も活発に！



【4月～ 乗入授業】
今年度も、算数、外国語、体育、音楽で行われています。写真は中学校教員が入ったの小学生体力テストの様子です。

【まるわかり一覧表】
小中それぞれの学習や生活のきまりなどをわかりやすく一覧にして、今年度も全児童生徒、保護者に配布しました。



【6月 合同あいさつ運動】
毎月2回程度、中学校生徒会と小学校児童会が合同であいさつ運動をしています。

【7月 児童会生徒会交流】
お互いの活動について紹介しました。



まくべつ学園運営協議会

昨年に引き続き、CS 会議として、学校運営協議員の方々に学園代表者を加えたメンバーで、学園運営協議会が行われています。今年 2 回目となる 6 月の協議会では、地域の環境や教育資源についての話し合いがもたれました。

今回の熟議では、小・中学校が活用している地域の教育素材や人材について学校側から紹介したあと、「地域がどのように学園に参加できるか、また協力できるか」について話し合いをしました。それらをまとめたもの



【第 2 回運営協議会の様子】

のが、こちらの「よくわかる幕別学園サポーター」です。今後は、これらのアイデアや意見をもとに、地域と学校がパートナーとして子どもたちの成長を支えていけるよう、より充実した活動を目指していきたいと考えています。



【よくわかる幕別学園サポーター】



今年度の新たな取組

① 校内研修の合同開催

これまで、校内研修会は小中それぞれの学校で取り組み、互いの学校の研修内容を共有する場合は年に一回行われる「まくべつ学園研修会」のみでした。しかし、年一回だけではお互いの研修内容が十分理解できないうえ、授業参観をしても表面的な部分しか見ることができず、「9 年間の学び」とい

う観点から授業を観ることはあまりできていませんでした。

そこで、今年度は共通の研究主題を設定し、年度初め年度末を含む 3 回の合同研修日を設けることにしました。また、それぞれの学校で行われる授業研究も互いに呼びかけあい、交流の更なる活性化を図っていきます。



【中学校校内研修会】

(※小学校の先生方から中学校の先生方へアドバイス)



【第 1 回合同校内研修】

② 「ふるさと学習やキャリア教育全体計画」の見直し

「地域（社会貢献）」と「キャリア（生き方教育）」の両輪をテーマとした小 1・2 の「生活科」や小 3 から中 3 までの「総合的な学習の時間」の年間計画に、今年度は、新たに「地域の活用」や「持続可能」といった視点を加え、見直しをしています。

見直しの観点としては、上記の CS 会議（学校運営協議会）で行われてきた話し合い（熟議）の中で出てきた意見や声なども反映させ、より地域に密着した教育活動を目指しています。企業や団体、大学、町などの外部人材や関係機関の協力を得ながら、今後もより充実した 9 年間を見通した教育活動を進めていきます。

2 学期には、小中合同研修会や児童生徒理解交流会、学習発表会・文化祭相互参観や小中合同特別支援学習会、小 6 中 3 が合同で行う「総合的な学習の時間」の取り組みもあります。次号（12 月）では、それらについてお伝えしたいと思います。

